

地域振興を目的とする音楽イベントの実態把握

茨城大学 学生会員 ○渡辺 聖
茨城大学 正会員 小柳 武和
茨城大学 正会員 桑原 祐史

1. 研究の背景

近年、村おこし、まちづくりの話題がマスコミにのぼらない日はないほど、全国各地で地域振興は展開され、そのための活動が行われている。しかし、経済効果や参加人員などの面からみて、好ましい結果は得られていないというのが現状である。

地域振興を目的に行われている活動の一つとして音楽イベントがある。規模は大小さまざまではあるが、入場者が10万人を超える音楽イベントもなかには存在し、安定的な発展を見せていると考えられる。また、企業が主体となって行っている教育や環境、福祉などを目的とした社会貢献活動（メセナ活動）は、ひとつの手段として音楽イベントを介して行われ、私たち地域住民の生活に影響を及ぼし、大きな注目を集めるものとなっている。

しかし、音楽イベントをメセナ活動の一環として行っている企業の多くは、実際に活動内容、条件、音楽性等が地域振興にどのように寄与しているのかは把握できていないというのが現状である。そこで、本研究では、地域振興を目的とした音楽イベントでは、どういう活動が行われているのかを事例調査により把握し、その特徴を見出すことを目的とする。

2. 研究の目的

- 本研究の具体的な目的を以下に述べる。
- i) 企業がメセナ活動の一環として行なっている音楽イベントの事例を収集し、地域振興を目的とするものと、他のものを目的とするものに分類する。
 - ii) 音楽イベントを行う上での地域振興の条件はどういうものなのかを把握する。
 - iii) i) により収集した事例を項目ごとに分類し、地域振興を目的とする事例と、そうでないものを目的とする事例の特徴をそれぞれ把握し、最終的にお互いを比較・分析することにより、地域振興を目的とする事例の現状を把握する。

3. メセナ活動の実態の把握

社団法人企業メセナ協議会が全国の企業を対象に行った調査によれば、企業におけるメセナ活動を行う場合、大きく5つの目的が挙げられる。そして、それらの目的に対応して具体的にどのような事が行われているのかを表-1に示す。

表-1 「メセナ活動」の目的と具体的に行われている活動

	目的	具体的な活動
①	社会貢献	環境問題への取り組み、チャリティー活動等
②	自社のイメージ向上	企業向上等
③	芸術文化振興	芸術家の育成、音楽の普及等
④	地域振興	地域の魅力を高める、地域の宣伝等
⑤	自社企業文化の確立	社員の芸術の意識・関心の向上等

4. 地域振興の条件の把握

本研究を進める上で、地域振興の条件にはどのようなものがあるかを把握した。文献や論文を参考して、イベントによる地域振興の条件については表-2にまとめた。

表-2 イベントによる地域振興の条件

NO.	イベントによる「地域振興の条件」
1	情報の創造
2	経済効果
3	本地域の人々の参加
4	他地域の人々の参加
5	地域資源の活用
6	他イベントの融合
7	開催年月

5. 事例の収集

今回、メセナ協議会が毎年行う「メセナ活動実態調査」をもとに作られているサイトを参考にして事例の収集を行った。

地域振興を目的とする事例は83件、他のものを目的とする事例は88件収集した。

6. 収集した事例の整理

事例を調べていくなかで、コンセプトが重なり合っている事例が多くあることに気づいた。それを分類するために、表-1の④の内容が組み込まれているものは、地域振興を目的とする事例として分類することとした。

キーワード イベント 地域振興 メセナ活動

連絡先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢 4-12-1 茨城大学工学部都市システム工学科 TEL 0294-38-5261

(例：優れた新進演奏家の発掘育成と、地域振興の充実をさらに目指して行われる)→地域振興を目的とするものへ分類。収集した事例を各項目に分け、整理した。その項目を表-3に示す。

7. 実態の把握

表-3に挙げた項目について、地域振興を目的とする事例と、他のものを目的とする事例それぞれについての特徴を把握した。

7. 1 音楽ジャンルの比較・考察

音楽ジャンルについて図-1から、地域振興を目的とする事例の一番多い音楽ジャンルはクラシックであるのに対し、他のものを目的とする事例の一番多い音楽ジャンルはロックであるという相違点が明らかになった。イベントを行う目的と、演奏される音楽のジャンルには関係があるのではないかと考えられる。

7. 2 数量化Ⅱ類を使った分析

今まで事例を収集し、いくつかの項目にわけて整理してきた。それらの項目同士の関係性を知るために、数量化Ⅱ類を用いて分析を行った。今回信頼性が高いと判断でき、さらに、特徴が顕著にみてとることができるもののひとつとして、「音楽ジャンル」と、「行われている場所」、「イベントの融合」との関係性についての分析だけを載せることとする。図-2、図-3のそれぞれの丸枠で囲った、まとまっているもの同士の関係が深いといえる。この分析において、地域振興を目的とする事例と、他のものを目的とする事例には共通した特徴があるということが明らかになった。具体的には、以下のような特徴を捉えることができる。

- ① 公園・街中などの野外で行われる音楽イベントでは、他のイベントの融合が多く、ロック、ジャズの演奏が行われているものが多い。
- ② コンサートホールのような屋内で行われるイベントでは、他のイベントの融合が少なく、クラシックの演奏が行われているものが多い。

8. 結論

- ① 地域振興を目的とする音楽イベントと、他のものを目的とする音楽イベントの現状を具体的に把握することができた。(表-4 参考)
- ② 地域振興を目的とする音楽イベントと、他のものをコンセプトとする音楽イベントの相違点・共通点を明らかにすることができた。

表-3 事例をまとめるための項目

1 名称	8 イベントの融合
2 都道府県	9 開催期間(2006まで)
3 コンセプト	10 地域資源の活用
4 運営会社(主催者)	11 利用者数
5 開催時間	12 音楽ジャンル
6 開催時期	13 料金
7 サイト	14 行われている場所

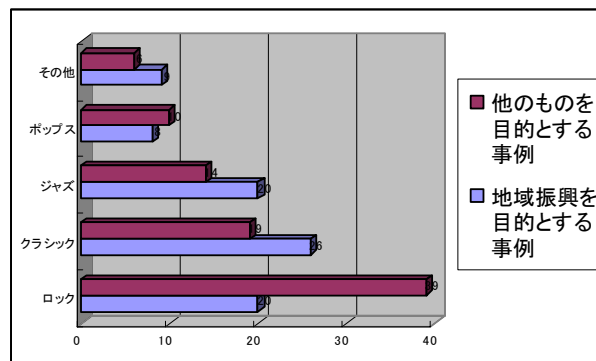


図-1 音楽イベントにおける各音楽ジャンルの事例数

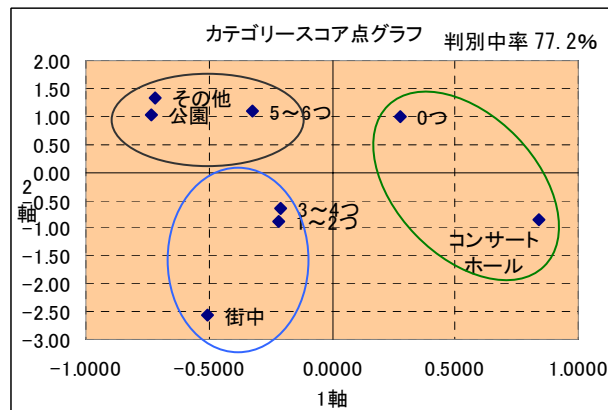


図-2 1軸と2軸の散布図(地域振興を目的)

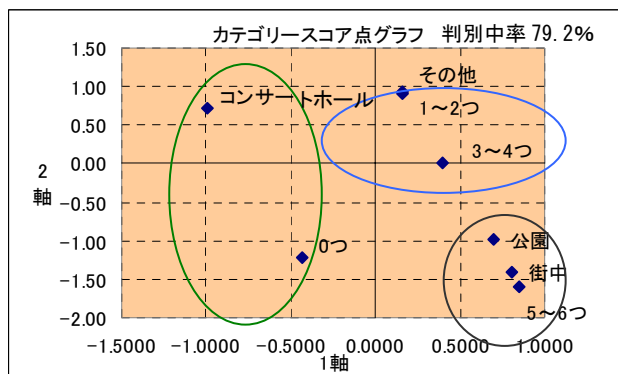


図-3 1軸と2軸の散布図(他のものを目的)

表-4 明らかになった特徴

	地域振興を目的とする事例の特徴	他のものを目的とする事例の特徴
音楽ジャンル	クラシックが主体	ロックが主体
参加料金	比較的に低く設定	比較的に高く設定
行われている場所	コンサートホール、公園が主体	コンサートホール、公園が主体
開催年月	1~5年に多く分布	1~5年に多く分布
イベントの融合	多い	少ない
地域資源の活用	多い	少ない
参加者数	判断できない	判断できない
音楽ジャンルとの関係性	場所、イベントの融合、参加者数	場所、イベントの融合、参加者数

参考文献

- 1) 山中芳朗：地域振興の要件、日本都市計画学会学術研究論文集 1990
- 2) 清成忠男：地域再生のビジョン 東洋経済新報社 p176~190 1987